

- | | | | | |
|---|-----------|--|----|----------------------------------|
| 1 | 審議会名 | 第2回上田市国民健康保険運営協議会 | | |
| 2 | 日 時 | 令和7年12月18日(木) 午後1時30分から午後2時45分まで | | |
| 3 | 会 場 | 上田市役所2階202・203会議室 | | |
| 4 | 出席者 | 上島孝雄会長、新田さやか副会長、沓掛邦雄委員、宮下暢夫委員、斉藤拓康委員、岸秀幸委員、高見澤勇委員、合葉雅彦委員、前田浩史委員、片山宏規委員、遠藤のり子委員、西澤初江委員、横澤幸江委員 | | |
| 5 | 市側出席者 | 小相澤副市長、山賀健康こども未来部長、櫻井健康推進課長、坂口国保年金課長、夏目収納担当係長、三井国民健康保険担当係長、吾妻保健事業係長、川上国民健康保険担当主査 | | |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 | ・ | 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | 1名 | 記者 | 1名 |
| 8 | 会議録作成年月日 | 令和8年1月26日 | | |

協 議 事 項 等

- | | |
|---|--|
| 1 | 開会(事務局) |
| 2 | あいさつ(副市長) |
| 3 | 諮問(副市長) |
| 4 | 会議録署名人の指名
上島会長から、遠藤委員と横澤委員の2名を会議録署名人に指名 |
| 5 | 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 諮問内容の説明(事務局:資料により説明) (2) 質疑等 |
| | 委員:基金残高5億円以上を見込むというために、令和9年度以降の税率はどれくらいで想定しているか。令和8年度の保険税率は6.73%となるが、それと同じくらいの税率にしていくのか、それとも段階的にもう少し引き上げなければいけないのかというところはどうか。 |
| | 事務局:県から事業費納付金が確定した段階と上田市の給付状況等全て勘案した中で、運営協議会に諮っていくことになる。 |
| | 委員:基金の繰入について、令和7年度の激変緩和措置というのは、前年度会議で行うという話に決まっていたか?イメージとして基金を取り崩すとか、基金を使って補填するという話は会議では出ていないはずだが。 |
| | 事務局:基金の繰入に関しては、これまでの運営協議会を通じて、活用していく流れを汲んでいる。昨今の物価高騰も考慮し、子ども・子育て支援分以外の3区分について据え置きをさせていただく中で、基金を活用することも含めての諮問となっている。
今年度、税率を据置となれば、令和8年度も基金を繰り入れての国保の運営を考えている。 |
| | 委員:子ども・子育て支援分の制定について納得がいかない。上田市としてどのように被保険者に説明していくのか、また、子ども支援のための子どもがいる世帯も負担が発生する仕組みは如何なものか。 |
| | 事務局:子ども・子育て支援分については、国保に限ったことではなく、後期高齢者医療保険や協会 |

けんぽ、共済保険など全ての健康保険制度で行われていくこととなる。また、年度末までに18歳を迎えられる方までの均等割額は全額減免となることも含めてご理解いただきたい。

委員：既存分が据え置きとなったとしても、子ども・子育て支援分により国保税は実質値上がりとなる。昨今の物価高騰の状況下で、基金の活用等により保険料率は下げたいし、子どもの負担はなくしてほしいという思いが強い。子どもを大事にする上田市として何かしらの対応策をお願いしたい。

事務局：本来基金の活用は、今以上の景気が悪くなったような時に、保険料収入がなくなった中で、それでも給付費が増えることによる費用を賄っていく必要がある事態に活用することを想定している。今後も適正な国保の運営に努めていきたい。
(質疑終了)

会長：諮問の内容について採択してよいか。
(賛成多数で議決)

会長：答申書についても、私と事務局の方で纏めてよいか。
(賛成多数で議決)

6 その他

(1) 今後の日程についての説明（事務局：資料により説明）

- ・審議終了により次回会議は開催しない

7 閉会（事務局）

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。